

予算特別委員会から

審査日程：3月6日、3月11日、3月13日、3月16日、17日、19日、23日

令和8年度の当初予算は、一般会計で、2兆3000億2700万円余、特別会計の総額で1兆179億1100万円余、企業会計の総額で476億9800万円余となっており、一般会計は前年度当初予算比5.1%増となっております。

【歳入確保】

現在、過去30年とは異なる金利、物価高騰のフェーズに突入り、財政運営も大きな転換期を迎えています。

委員からは、基金運用の情報公開の必要性、そして歳出面では、県有施設への安定的な財源確保と中長期的な資産マネジメントについて質され、知事からは、県有施設の整備にあたり、財政負担の軽減や平準化を図っていく。財源確保については地方債等特定財源と一般財源のバランスを図りながら進め、特に地方債については有利な条件で発行が期待できるワンヘルスボンドやグリーンボンドの活用など金利負担抑制に努めてまいるとの答弁がありました。

以下、その委員長報告について要約したものを掲載します。

審査の過程において議論された主な内容は、本会議場での採決の前に、香原勝司委員長が報告を行いました。

【ワンヘルス】

「人と動物の健康と環境の健全性」というワンヘルスの理念を自然の中で体験できる「ワンヘルスの森(四王寺)」の魅力向上は、本県がワンヘルスの先進地になる上で、重要な取り組みであります。

執行部からは、昨年3月に取りまとめた整備基本構想に基づき、計画的に進めるとともに、ワンヘルスの取り組みを国内外に発信してまいるとの答弁がありました。また、ワンヘルスはその柱の1つに健康づくりがあります。

委員からは、ワンヘルスとともにがん検診の受診率向上への取り組みと、ワンヘルスの視点を踏まえたがん教育の充実について質され、執行部からは、「ワンヘルス未来会議」を設置し、身近な活動を展開するとともに、がん検診は市町村支援等で受診率向上を図り、双方を推進する。ワンヘルス教育とがん教育は目標が通じるため、関連付けて理解を深め、がん教育の充実に取り組んでまいるとの答弁がありました。

【議会における海外活動】

委員からは、海外活動に関する契約の透明性確保と費用抑制について質され、知事からは、議会における海外活動の契約についての監査の結果、違法または不当なものではないと結論付けられたところであり、さらに、議会改革プロジェクトチームでも議論を重ねられ、予定価格の設定方法の改善、見積書の徴取などにおける競争性の向上などを盛り込んだ「契約方法の改善方針」を取りまとめられたと承知している。

また、先日、蔵内議長から、この方針を踏まえ、契約手続きに関するガイドライン等のさらなる具体化について、申し入れを頂いたところである。そこで、この方針も踏まえ、競争性、公平性、透明性が担保される適切な契約、経費の執行につながるよう、知事部局で作成、周知しているガイドライン等のさらなる具体化などに取り組んでまいると

の答弁がありました。



【人口減少対策】

県内の地域間格差の是正のため、人口減少対策は、本県として重要な課題です。

委員からは、福岡市への一極集中による人口減少への対策として、福岡市で働きつつ地元に住み続けるライフスタイルの提唱と、具体的な交通政策、インフラ整備について質され、知事からは、福岡市への人口集中に対応し、これまで通勤通学時における公共交通維持や道路整備で利便性を図ってきた。今後も基幹道路、高規格道路へのアクセス道路の整備、九州縦貫自動車道と有明海沿岸道路の連絡を強化する方策の調査など、戦略的な道路整備に取り組んでまいるとの答弁がありました。

【県営都市公園の利用促進】

委員からは、県営都市公園全体の整備について質され、知事からは、県営都市公園は、スポーツ活動や環境保全、防災機能など多岐にわたる機能を持ち、地域の魅力向上と豊かな環境づくりを担っており、「ワンヘルス」や「スポーツ立県福岡」といった本県の施策の実現に向けて、さらなる魅力向上に取り組んでまいるとの答弁がありました。

【中小企業振興】

本県の経済発展には、中小企業の振興は重要です。委員からは、バイオ産業を含む成長産業の育成と中小企業の稼ぐ力強化について質され、執行部からは、宇宙・バイオなどの優れたスタートアップ・ベンチャー企業やものづくり企業が本県の強みであり、今後も成長産業の挑戦を強力に後押しするとともに、中小企業の稼ぐ力を高めるため、「福岡県中小企業、稼ぐ力」応援センターを設立し、ワンストップ支援を行ってまいるとの答弁がありました。

【介護従事者の処遇改善】

介護従事者の身体的負担軽減のため、ノーリフティングケアの普及促進が重要です。執行部から

【県立高校の在り方】

委員からは、志願倍率低下や私立の無償化を踏まえた県立高校の魅力向上と改革の必要性について質され、教育長からは、少

子化やDXに対応しつつ専門高校の機能強化、普通科高校の魅力向上、多様な学習ニーズへの対応等、関係機関と連携し選ばれる学校づくりに取り組んでまいるとの答弁がありました。

また、委員からは、ネクストハイスクール構想を踏まえ、教育改革の必要性について質され、教育長からは、個性や主体性を重視した学びを推進し、時代に応じた魅力ある学校づくりに取り組んでまいるとの答弁がありました。

【その他】

このほかにも、心のサポーターの普及、こども、若年層へ向けたジェンダー平等、選挙の在り方、門司港エリアの活性化、介護施設の口腔ケア、ひとり親家庭のこともの学習支援強化、地域限定保育士、若者への薬物乱用対策、福岡県看護師等就学資金貸付制度、太陽光パネルの資源循環、次世代型太陽光電池の普及促進、森林環境税、空き家対策、福岡県学生会館など多岐にわたって質疑、要望がなされました。

予算特別委員会委員一覧

◎香原 勝司	○山本 耕一	聡文彦 則史 史郎 一司
順善 健	田原 宗	正俊 政博 美和 進崇
井上 吉高	江波 大室 永堀 吉	橋上 川尾 田井 岐又 開
橋本 多橋 屋島 松		板井 永横 原新 壹稻 新
		二一 彦一 郎 穂 田子 子平
		伸 祥 和 伸 一 美 雅 里 絹 祥
		中 江 笠 宮 宮 渡 田 塩 大 戸
		原 川 辺 中 出 塚 成
		吾 明 朗 彦 介 香 通 助 昭
		順 善 一 義 祐 克 美 弘 大 源

(◎は委員長、○は副委員長)